



大野文泉筆「南部下北半島真景図」

## 企画展 新収蔵・バーチャル展示コンテスト展

昭和48(1973)年、本県初の総合博物館としてオープンした当館は、今年43年を迎えます。この間、県民のみならずから寄せいただいた資料は、10万点を越えました。これらの資料は、郷土の姿をものごたる貴重な財産であり、後世に向けて確実に保存し継承していくことはもちろん、展示や教育、研究など、様々な機会や場面を通じて、広く活用させていただいております。

この企画展では、今年度新たに寄贈いただいた資料をはじめ、当館で所蔵している資料の中から特色のあるものを選び、展示いたします。いずれも青森ゆかりの品々であり、県民のみならずの御厚意による、ふるさとからの贈り物です。

また、本年度からインターネット上でもこれらの資料を公開しております。博物館の展示活動に親しみをもってもらうための試みのひとつとして、仮想展示空間での模擬展示コンテストをおこないました。企画展では、最優秀作品を現実の空間に再構成し、その成果を公表します。

研究員 増田 公寧



コンテスト最優秀作品 (むつ市 セサミ氏)

- 期間 3月3日(木)～4月18日(月)
- 休館日 3月25日(金)※展示資料一部入替えのため
- 場所 1階特別展示室(大ホール)
- 時間 9:00～17:00
- 観覧料 一般 310円(250円)  
高校・大学 150円(120円)  
中学生以下無料、障がいのある方は免除。  
※( )内は20名以上の団体料金。  
こちらの金額で常設展も観覧できます。

# 企画展 新収蔵・バーチャル展示コンテスト展 詳細

考古分野では、県立青森北高等学校考古学部の収蔵資料、小川原湖湖底から採集された縄文時代早期の土器・石器、鱒ヶ沢町大曲から出土した弥生土器などの寄贈資料を展示します。

自然分野では、当館の自然調査によって烏帽子岳から得られた県内初記録の蛾、五所川原市前田野目で採取された原油を展示するほか、委託制作した両生類や虫類の樹脂封入標本を展示します。

歴史分野では、平成26・27年度に購入した大野文泉筆「南部下北半島真景図」「津軽外ヶ浜真景図」を展示します。近世後期の風景画がそれぞれ16枚ずつ収められた卷子本で、アイヌ衣装のアットゥシを着た人物がたびたび描かれています。

民俗分野では、小川原湖民俗博物館に所蔵されていた着物やオシラサマ、下北地方の山樵用具や青森市内の農家の農機具、味噌醸造用具などを展示します。

先人分野では、平成26年3月末に閉館した、みちのく歴史人物資料館から移管された、本県出身の著名人および本県に貢献した人物の資料を紹介します。ほか、元斗南藩士で青森県の新聞記者の草分けでもある小川渉の関係資料なども展示します。

産業分野では、八甲田山の山スキーのコースにその名を残す梅津又四郎氏の遺品1点、昭和30年代頃に使われていた青森リンゴの宣伝ポスターのほか、青森市米町にあった雑貨問屋中村與助商店の写真、中国やフィリピンに出征した青森県出身者の資料などを展示します。

バーチャル展示コンテストコーナーでは、最優秀作品「人のかたちをつつむ衣類」（むつ市・セサミ氏）の作品を投影します。作品に用いられている当館所蔵のサシコ着物やアイヌの衣服、着物姿の女性の肖像などの資料は、実際の展示に反映されます。

透明樹脂標本（アメリカザリガニ）



鱒ヶ沢町大曲遺跡出土弥生土器（台付浅鉢）



笹森儀助宛陸実（陸羯南）書簡



青森りんご宣伝ポスター



上衣（小川原湖民俗博物館旧蔵）

県民と郷土を結ぶ総合博物館

# 青森県立郷土館 平成28年度年間行事予定

4月29日(金)～5月8日(日)

両手足が不自由な画家

佐藤涼・個展 Black & White THE BEST

5月20日(金)～7月3日(日)

企画展 「向山満コレクション『コウモリの不思議』」

7月15日(金)～8月28日(日)

特別展 「刀剣魂」

9月10日(土)～10月23日(日)

TTHAグループ主催

五味太郎作品展 「絵本の時間スペシャル」

10月28日(金)～11月6日(日)

TTHAグループ主催 第84回 東奥児童美術展

11月18日(金)～1月15日(日)

企画展 「昭和家電パラダイス」

2月10日(金)～2月19日(日)

TTHAグループ主催 第6回 東奥児童書道展



### ◇休館日◇

○4/19・28、5/9・19、7/4・14  
8/29、9/1～6・9、10/24・27  
11/7・17、1/16、2/9・20  
年末年始 12/29～1/3

### ◇開館時間◇

○4/1～4/30、11/1～3/31  
9:00～17:00  
○5/1～10/31  
9:00～18:00

### ◇交通機関◇

○JR青森駅より徒歩約20分  
○市営バス JR青森駅から  
■国道経由  
NTT青森支店前(または市役所前)  
下車、徒歩約8分  
■新町経由  
新町2丁目下車、徒歩約8分  
○市民バス JR青森駅から  
■青柳線  
ワシントンホテル前下車、徒歩約1分



○はバス停です

### ◇その他事業◇

- 土曜セミナー
- 郷土の文化や達人の技、体験教室  
(5/28・8/6・11/5)
- ミュージアム探検隊(土・日・祝日・春休み期間)
- 郷土館クイズラリー(夏休み・冬休み期間)
- 自然観察会(6月・10月)
- 夏休みこどものくに(7/31・8/7)
- 授業に役立つ博物館研修(7/29)
- 博物館実習(8/22～26)
- あおり街かど探偵団(秋に開催)
- 冬休みめぐり回し大会(1/8)
- 出前授業・移動博物館・講師派遣事業(随時)

### ◇常設展観覧料◇

区分	3～12月	1・2月
一般	310円(250円)	250円(200円)
高校・大学生	150円(120円)	120円(100円)
中学生以下	無	料

- ( )内は20名以上の団体料金。
- 障がいのある方は免除。
- 展示会の料金は、直接お問合せ下さい。

### ◇問い合わせ◇

青森県立郷土館  
〒030-0802  
青森市本町2丁目8-14  
TEL 017-777-1585  
FAX 017-777-1588

青森県立郷土館指定管理者  
**TTHAグループ**  
株式会社東奥日報社  
株式会社東奥日報サービス  
株式会社日立ビルシステム  
青森設備工業株式会社

# 平成27年度連携展 特集

今年度、様々な施設で郷土館の連携展が開催されました。  
その一部をご紹介します。



## 「自然史料が語る青森県の姿」

期間：平成27年7月18日～平成27年8月30日

場所：六戸町郷土資料館

化石や岩石・鉱物標本、昆虫標本、鳥類剥製といった自然資料計62点を展示しました。また、県内で見られる主な昆虫、田んぼなどの水辺でよく見られるサギ類を紹介しました。

## 「りんごの街 あおもり」

期間：平成27年11月11日～平成28年1月25日

場所：青森県観光物産館アスパム

2015年は政府が配布したりんごの苗木を青森県が受け取ってから満140年の年でした。

展示では、生産量日本一を誇る青森県のりんごの生産と流通に関わる資料を、写真パネル、映像等でご紹介しました。



## 「日本最大級!!安田勝寿コレクション 昭和のおもちゃ展」

期間：平成27年9月1日～平成27年11月3日

場所：青森県営浅虫水族館

八戸市在住のおもちゃ収集家・安田勝寿氏のコレクション約10,000点のなかから、約100点を厳選しました。魚や船など海にまつわるオモチャから、テレビヒーローまで、昭和のなつかしいオモチャを多数展示しました。



## 「鈴木正治 作品展」

期間：平成27年9月5日～平成27年10月31日

場所：深浦町美術館

青森市出身の彫刻家 鈴木正治の作品は、どこか人の心を癒す不思議な力を秘めています。

昨年度の「鈴木正治展」に引き続き、今年度は一括寄贈されたコレクションの中から、ユーモアあふれる木彫作品「きのしごと」とともに、豊かな感性が生み出した銅版画を中心に展示しました。

